

# 編集後記

先日、新聞で、ある母親の投稿記事を読みました。題は「喜ばれ、ミシン楽しく」というものでした。

その母親は、わが子の入園に際し「どうとう来るべきことが来た」とプレッシャーを感じていたそうです。それは、彼女が学校時代から家庭科が苦手でミシンでまっすぐ縫うことすらままならないのに、入園までにバッグなどを手作りしなくてはならないことからきていました。

初めに、直線縫いだけのナプキンを悪戦苦闘しながら縫い始めると、子どもは面白そうにのぞき込み、片時も離れません。やっとできあがったナプキンを手渡すと、「ワー」と

目をキラキラさせながら受け取って、二、三日ずっとそのナプキンで遊んでいました。

彼女はその姿を見てうれしくなり次々にバッグを三つも作ってしまいました。そして、今までミシンを踏んでこんなに喜ばれたことがなかったことに気づきました。家庭科では縫ってもすぐ縫い目をチエツクされ、ビクビクしていました。

そしてもうひとつ、「もし君がダメなら、僕がしてみようか」という夫の一言が彼女を励ました。

「もし「母親だろ」と言われたら、手をつける気になれなかつたかもしれません」と書いています。

私はミシンを踏むのが好きですが、それは幸い、今まで作ったものが喜ばれてきたからなのかもしれない、と思いました。

(A)

## 幼児の教育

第九十九巻 第七号

(二〇〇〇年七月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十二年七月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二二一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-1820 東京都港区三田五二一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一一四一

☎〇三―五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―五六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。